

登米総合産業高等学校 農業科作物専攻班 第9回オリザ賞 「大賞」受賞



この度、登米総合産業高等学校農業科作物専攻班が、「環境保全米25年の軌跡」と題して本校の取組みを第9回オリザ賞に応募し、1次審査、2次審査を経て、「大賞」を受賞しました。

本日（10/1）の河北新報、日本農業新聞に記事が掲載されるとともに、東北放送「Nスタみやぎ」（18時15分より放送）にて、オリザ賞に関するニュースが放送される予定となっていますので、是非ご覧ください。

登米総合産業高等学校
農業科 作物専攻班（6名）

前列右より

浅野 春希くん（豊里中出身）
高橋 虹希くん（若柳中出身）
千葉 新太くん（佐沼中出身）
佐藤 渉太くん（米山中出身）
高橋 絵里佳さん（津山中出身）
田口 真唯さん（南方中出身）



オリザ賞（主催 宮城県農業協同組合中央会）とは

オリザとはラテン語で「稲」の学名であり、世界24カ国のルポをもとに新しい米づくりの可能性を訴えた河北新報社連載企画「オリザの環（わ）」（創立100周年記念事業、平成9年度新聞協会賞受賞）の趣旨を生かす目的で、JA宮城中央会が平成9年度に3年に一度の取組みとして、河北新報社及び東北放送の協力を得て創立した宮城県独自の賞です。

宮城県の基幹作物である「コメ」を通じ、農業の振興に大きく貢献した取組みを発掘し、農業の果たす役割や地域づくりに向けた活動を社会一般へ紹介し、農業への理解を促進することを目的としています。

「環境保全米」とは

環境保全米とは赤とんぼやホタルが乱舞する豊かな自然環境を復活させ、安全・安心の証でもあるカエル、クモ、ドジョウやメダカがたくさん住む田んぼで大切に育てられるお米です。

※その他のお知らせ

10月30日（土）9時30分～ 東日本放送の「めざせ！頂点」にて、本校の機械工作部がロボットコンテスト出場し、優勝するまでの様子が特集として放送される予定ですので、こちらも是非ご覧ください。（放送日が変更される場合があります）

